

周術期の薬学管理

改訂3版



監修 一般社団法人 日本病院薬剤師会

CONTENTS

- 第1章 手術前に確認すべき患者プロフィールと薬歴**
アレルギー歴、麻酔歴、家族歴／血小板減少 ほか
- 第2章 周術期の指示**
絶飲食／前投薬 ほか
- 第3章 術後に多い患者からの訴えとモニタリング**
創部痛(周術期疼痛管理)／硬膜穿刺後頭痛 ほか
- 第4章 はじめての手術室**
手術室の環境／手術室で働く医療スタッフ ほか
- 第5章 術式別手術の流れ**
脳腫瘍摘出術／食道悪性腫瘍手術 ほか
- 第6章 便利ツール**
筋弛緩薬比較表 ほか

詳しくは
Webで



- B5判 308頁
- 定価 4,180円 (本体3,800円+税10%)
- ISBN 978-4-525-77083-9
- 2024年11月発行

周術期薬学管理を担当する薬剤師の必携書、6年ぶりの改訂!

3 冠動脈バイパス移植術

疾患：
• 狭心症で薬物療法の効果がなく、経皮的経管冠動脈形成術(PTCA)も困難な場合。
• 左主幹冠動脈病変(70%以上)、3枝病変で低左心機能(左室駆出率が50%未満)など。

手術概要：
• 体の他の部分から血管を採取してつくった血管グラフトを冠動脈狭窄部の先の血管につなぎ合わせバイパスを通す手術(coronary artery bypass graft: CABG)。胸の中央を首の付け根から胃上部まで切断し、胸骨を切断する開心術を行う。人工心肺装置を用いて心臓を止めて手術を行う on pump CABGと心臓を拍動させたまま行う off pump CABGがある。
• off pump CABGの利点は低侵襲であり、冠血流動態が大きく変化しないため脳虚寒、腎不全、臓器灌流不全が減少し、早期退院が可能である。on pump CABGの利点は、心拍動下縫合を行う off pump CABGに比べ手術手技が容易である。人工心肺は低体温にした状態でヘパリン化した血液を循環させる。特徴として、以下の2点があげられる。
①完全体外循環中は肺循環がなくなる。
②血液拍出量は心拍出量の正常値よりやや少ない。

麻酔方法：全身麻酔
平均手術時間：4~6時間
平均麻酔時間：5~7時間
体位：仰臥位
出血量(自己血貯血)：400~600mL(不要)
術野使用薬剤：
10%ボピドノンド、ボルヒール®、タコシール®、プロタミン、サージセルニューユニット®、オルブリン®、人工心肺使用薬剤(ハルトマンpH8、ミオテクター®、ピカーボン®、D-マンニトール、マルトース、メイロン®、ナファモスタット、ヘパリン)など
術野の汚染度別分類：清潔手術
感染予防抗菌薬：セファゾリン、3時間ごとに追加投与(腎機能低下例では、投与間隔をさらに延長)
肺血栓塞栓症予防管理：あり

冠動脈バイパス移植術

1時間
2時間
1時間30分
2時間

人工心肺開始前
人工心肺開始時
人工心肺開始後
人工心肺終了

緊急導入
維持：手術開始～人工心肺開始前
維持：人工心肺開始～終了
覚醒：～手術終了

ミダゾラム
*フェンタニル
2%リドカイン
*ロクソニウム
*セファゾリン
*フェンタニル

導入
導入
心室性期外収縮の発症予防
*適量追加投与
筋弛緩
通常は挿管時のみ投与、術中は適量追加投与
術後感染予防抗菌薬
3時間ごとに追加投与
(腎機能低下例では、投与間隔をさらに延長)
鎮痛

プロポフォール
レミフェンタニル
イソソルビド
ジルチアゼム
ミルリニン
ヘパリン
ドブタミン(持続静注)

鎮静
鎮痛
冠動脈拡張
冠動脈スバズムの予防
左機動脈採取に伴うスバズム予防
ヘパリン化
必ずACTの確認
心収縮力の増強

ヘパリン
ノルアドレナリン
ランジオリール
プロタミン

ヘパリン化
必ずACTの確認
血圧調整
心拍数の調節
ヘパリンの中和

*フェンタニル
静注or持続静注：術後鎮痛



南山堂

〒113-0034 東京都文京区湯島4-1-11
TEL 03-5689-7855 FAX 03-5689-7857(営業)

URL <https://www.nanzando.com>
E-mail eigyo_bu@nanzando.com



周術期の 薬学管理

改訂3版

監修

一般社団法人
日本病院薬剤師会

- B5判 308頁
- 定価 4,180円 (本体3,800円+税10%)
- ISBN 978-4-525-77083-9
- 2024年11月発行

会員価格 3,800円 (本体価格 3,455円+税10%)

周術期患者の薬学的管理を実践するためのテキスト

2022年度診療報酬改定にて「周術期薬剤管理加算」や「術後疼痛管理チーム加算」の項目が新設されてタスク・シフト/シェアが推進されており、周術期における薬剤師の担う役割はますます大きくなっている。術前の対応から術中業務の実際、術後フォローアップまで解説した本書は、周術期薬剤業務に必ず役立つ一冊である。

この用紙をご利用の上、弊社に **FAX** でご注文頂いた場合のみ、会員価格にて販売いたします。
※日本病院薬剤師会 会員価格でのご提供のため、書店様経由での取り扱いはできません。

FAX 用購入申込書

南山堂 行

FAX 0120-797-857

周術期の薬学管理 改訂3版

ご希望の冊数をご記入ください

●ISBN 978-4-525-77083-9 ●B5判 308頁 ●会員価格 3,800円(税込)

冊

※送料無料で発送いたします

【お支払いは書籍に同封いたします振込用紙をご利用の上、郵便局かコンビニエンスストアよりご入金ください。】

フリガナ お名前	フリガナ 住所	□ご自宅 □勤務先 (〒 -) T1105	
		電話	E-Mail
FAX	弊社からのFAX・メルマガを希望されない方はチェックを入れてください→ <input type="checkbox"/>		

お客様の個人情報を外部へ漏洩することは絶対に行いません。ご記入いただきました個人情報はデータベースとして保管いたしますが、商品の発送および代金振込みの確認以外に使用することはありません。また、同意いただけた方のみ、新刊案内等のご連絡をさせていただきます。その場合も不要のご連絡があれば、個人情報は破棄し、以後ご連絡はいたしません。

 南山堂

〒113-0034 東京都文京区湯島4-1-11 TEL 03-5689-7855 FAX 03-5689-7857(営業)
URL <https://www.nanzando.com> E-mail eigyo_bu@nanzando.com